

CASBEE-建築(新築)2024年版
京都府南丹警察署

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40			3.0
1 音環境		3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		3.7	0.25			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材を全面的に採用している。	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御	敷地内に喫煙スペースを設けていない。	5.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.4
1 機能性		3.5	0.40			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30			
1 広さ感・景観		3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画	府内産木材を使用した公衆溜を計画している。	5.0	0.33			
1.3 維持管理		4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計	内装・外装を防汚性の高い仕上としている。	5.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30			3.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	官庁施設の総合耐震・対津波計画基準における構造体I類として	5.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		3.2	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備	非常用発電装置を備えている。	4.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

3	対応性・更新性		2.9	0.30		-	2.9
	3.1 空間のゆとり		3.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高3.65m以上を確保	3.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	-	3.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		2.8	0.40		-	
	1 空調配管の更新性	-	2.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30		-	2.4
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-		-	3.2
LR1	エネルギー		-	0.40		-	3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	屋根・外壁の高断熱化、LowE複層ガラスの採用	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用(直接利用)	-	3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI値0.60としている。	3.0	0.50		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	-		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	
4	効率的運用に向けた取組み		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.40		-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.40		-	
	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大	-	3.0	0.10		-	
	4.4 コミッシュニングの推進	-	3.0	0.10		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	
	4.1 モニタリング	-	-	-		-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	3.0
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水	-	3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60		-	3.1
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	府内産木材を使用	5.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤	-	-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50		-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	ホールライフカーボン排出率を75%としている。	4.0	0.33		-	4.0
2	地域環境への配慮		2.5	0.33		-	2.5
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	一般車両と警察車両の棲み分けをしている。	5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音	-	3.0	0.33		-	
	2 振動	-	3.0	0.33		-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-		-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70		-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2024年版

京都府南丹警察署

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	2.0	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	10.0		○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		○	-	-	-	○	○	-	○	-	-	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	-	-	-	○								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	○	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	○	-	-	○	○	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	-	-	○	○	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用(直接利用)	1.0		-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
4.1.4 コミッシュニングの推進	-		-	-	-	-	-								
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 給排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム 4.0	屋根 2.0	外壁 2.0 床 2.0
住戸部分 窓システムU値	-	外皮UA値	- η AC - η AH -
昼光率	1.5%		
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用(直接利用)

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

集合住宅

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

外構緑化指数	13%	建物緑化指数	3%						
空地率	58%	水平投影面積率	6%	地表面対策面積率	7%	舗装面積率	50%		
BPI/BPI _m	0.62	断熱等性能等級	対象外 相当						
影響範囲の割合	0.0%	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%				
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%				
		太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kWh		
BEI/BEI _m	再エネ有 0.60	無 0.60	オフサイト再エネ有	-	-				
一次エネルギー削減率	再エネ有 #####	無 #####							
雨水利用率	0.0%								
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-				
使用比率	100.0%								
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)							
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)							
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)							
見付面積比	#DIV/0!	隣接間隔指標R _w	-						
地表面対策面積率	7.0%	屋根面対策面積率	5.0%	外壁面対策面積率	0.0%				
見付面積S _b	m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	0 m	基準高さH _b	0 m				
緑地	294m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²